

韓国留学生 イ・ヨンヒさんとの交流

清水 彦功(三井住友海上OB)

今年2018年5月から三井V-Netの紹介で交流をスタート、現在まで月1、2回一対一交流しているイ・ヨンヒさんについて、紹介させていただきます。2018年4月に入学した同志社大学・韓国女子留学生です。高校日本語科出身で日本語会話が可能で、グローバルコミュニケーション学部で学んでいます。特に日本の落語に興味を持っており、その他日本の伝統文化や日本人の価値観について学びたいとの希望でした。

彼女との交流は、本音で明るく楽しく会話をするように心がけており、彼女とはLINEメールも利用し、学生生活や日常生活で疑問があれば質問メールでやり取りもしております。9月の猛烈な台風の直後には彼女から「大丈夫でしたか」とのメールが届いたことは、嬉しい限りでした。

彼女との交流は、概ね次の3つのテーマで話し合っています。

第1テーマは、日頃疑問に思ったこと。

質問の一つに、日本語会話に出てくる擬声語・擬音語(わいわい・ぎゃーぎゃーとの違いなど)が全く理解できないとのことでしたので、辞典からよく使う擬声語擬音語を書き出し、どのように使うのかを説明しました。

第2テーマは、日本の社会習慣・社会で起きている出来事。

直近の「日経新聞」を見ながら、日本で起こっている社会の出来事など並びに記事の関連の話をペーパーに記載しながら説明します。

第3テーマは、日本の伝統文化について。

具体的に日本の風習などをテーマごとに説明し、結果、少しずつ理解を深めてもらっています。友禅染体験や習字教室にも参加希望しており、徐々に実体験を案内し習得してもらう予定です。

最近はお互いコミュニケーションも少しは深まり、同大学韓国留学生の女性友人3人を加え本人・私と5人で韓国料理を食し、和気藹々楽しい時間も持っています。

今後も彼女や友人の韓国留学生、そして他国の留学生が日本で学んでよかったと思えるような留学生活のサポートができればと思っています。

